

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2023年3月期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証スタンダード 6836

2023年5月12日

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設立：1993年3月

決算期：3月

上場：東証スタンダード 6836

資本金：1億円

社長：鈴木 友康

売上：9億9,475万円（2023年3月期）

社員数：33人（2023年3月31日現在）

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社ミッション

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

ぷらっとホームの事業領域

当社ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

PHYSICAL WORLD



あらゆるデバイスをインターネットへ
取扱商品（センサー）の拡充

コア・コンピタンス
IoT事業

CYBER WORLD



デバイス管理・リモート管理
データ流通・伝送基盤

より利便性の高い社会の実現へ
地方公共団体・電力会社
交通・物流・公共施設

より豊かなくらしづくりの実現へ
ビルマネジメント・ビル設備・照明システム
自動車・エネルギー・各種製造業・建設業

より安全な社会の実現へ
地方公共団体・教育機関・医療機関
警備・保険・セキュリティ

当社が培ってきたIoT事業を核に周辺領域へ事業を拡大

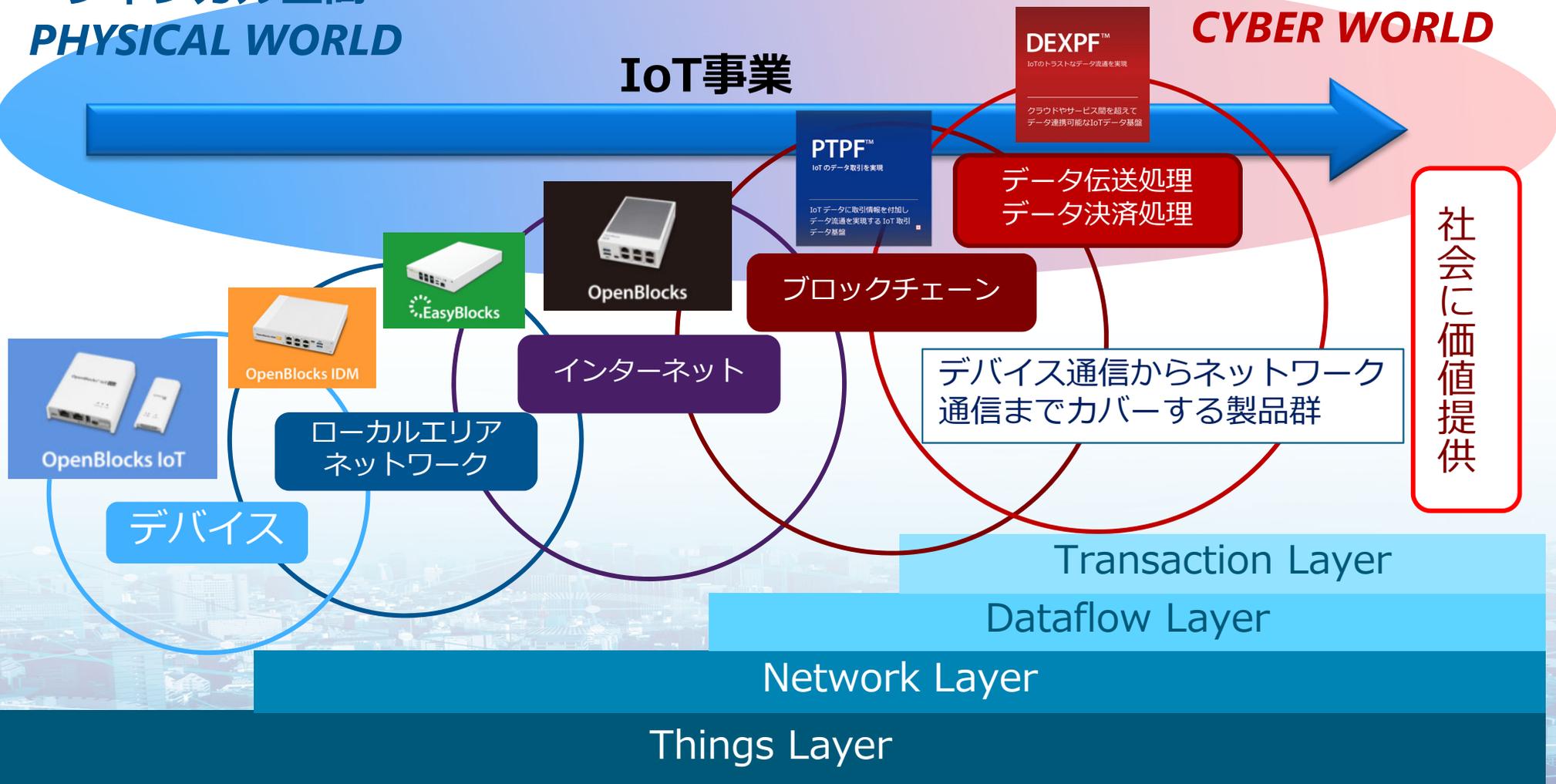
ぷらっとホームの事業領域

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

フィジカル空間
PHYSICAL WORLD

サイバー空間
CYBER WORLD

IoT事業



ぷらっとホームの製品ラインナップ

IoT・マイクロサーバー・ネットワーク製品



OpenBlocks

小型かつ堅牢
可用性の高いマイクロサーバー



OpenBlocks IoT

最先端ソフトウェアFWを搭載
したIoTゲートウェイ



EasyBlocks

シンプルに構築できる
ネットワークアプライアンス



OpenBlocks IDM

BIツール・ハードウェア一体型
IoT専用サーバー

IoTサービス・ソフトウェア製品



AirManage2

デバイスリモートマネジメントサービス

IoTゲートウェイをリモート
一括管理・制御・拡張

Plat'Home
IoT Gateway
Software
FW5

IoTセンサー・デバイスとの
プログラミングレスを実現する
IoTゲートウェイソフトウェア

IoTプラットフォーム製品

PTPF™

IoTのデータ取引を実現

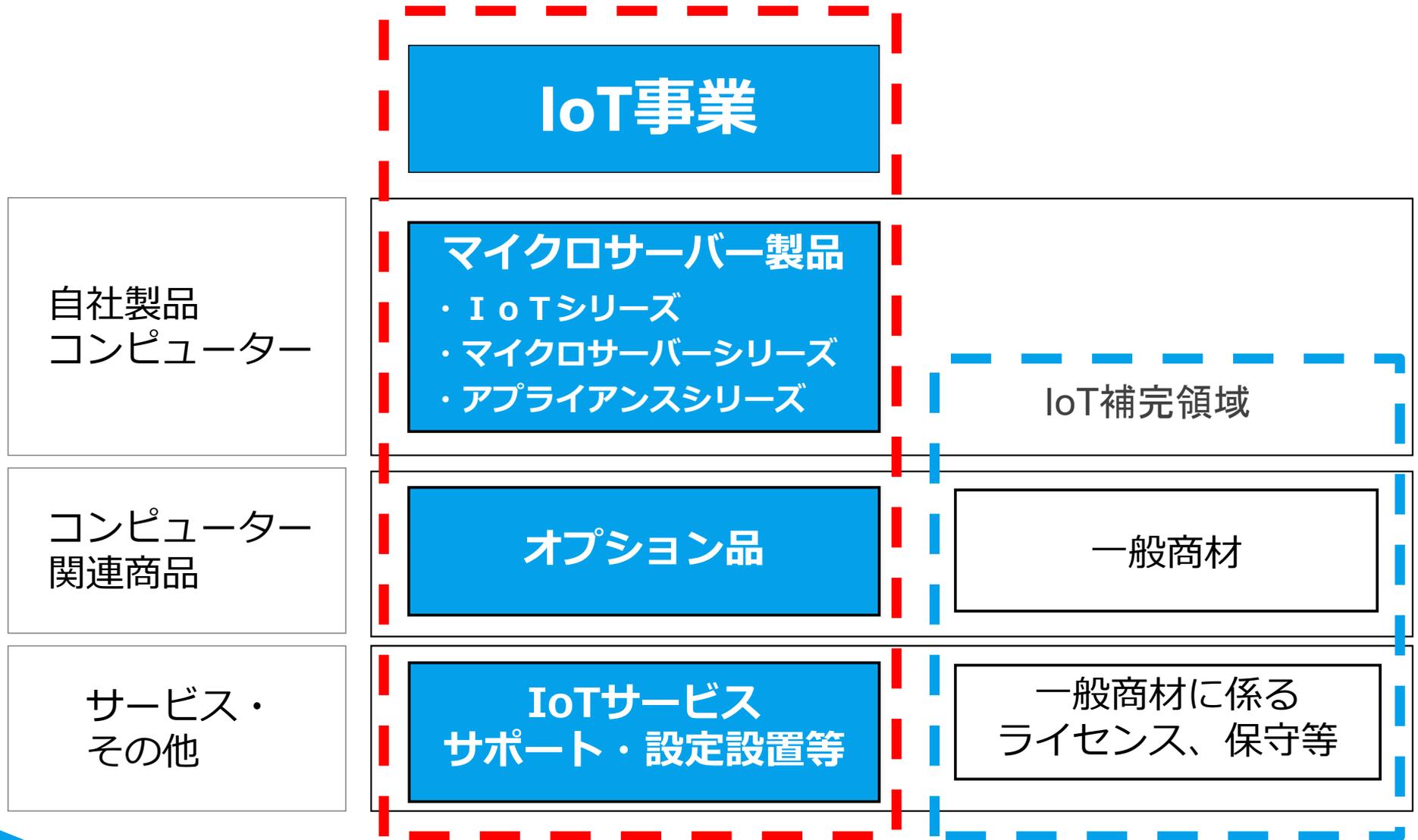
IoTデータに取引情報を付加し
データ流通を実現するIoT取引
データ基盤

DEXPF™

IoTのトラストなデータ流通を実現

クラウドやサービス間を超えて
データ連携可能なIoTデータ基盤

事業構成

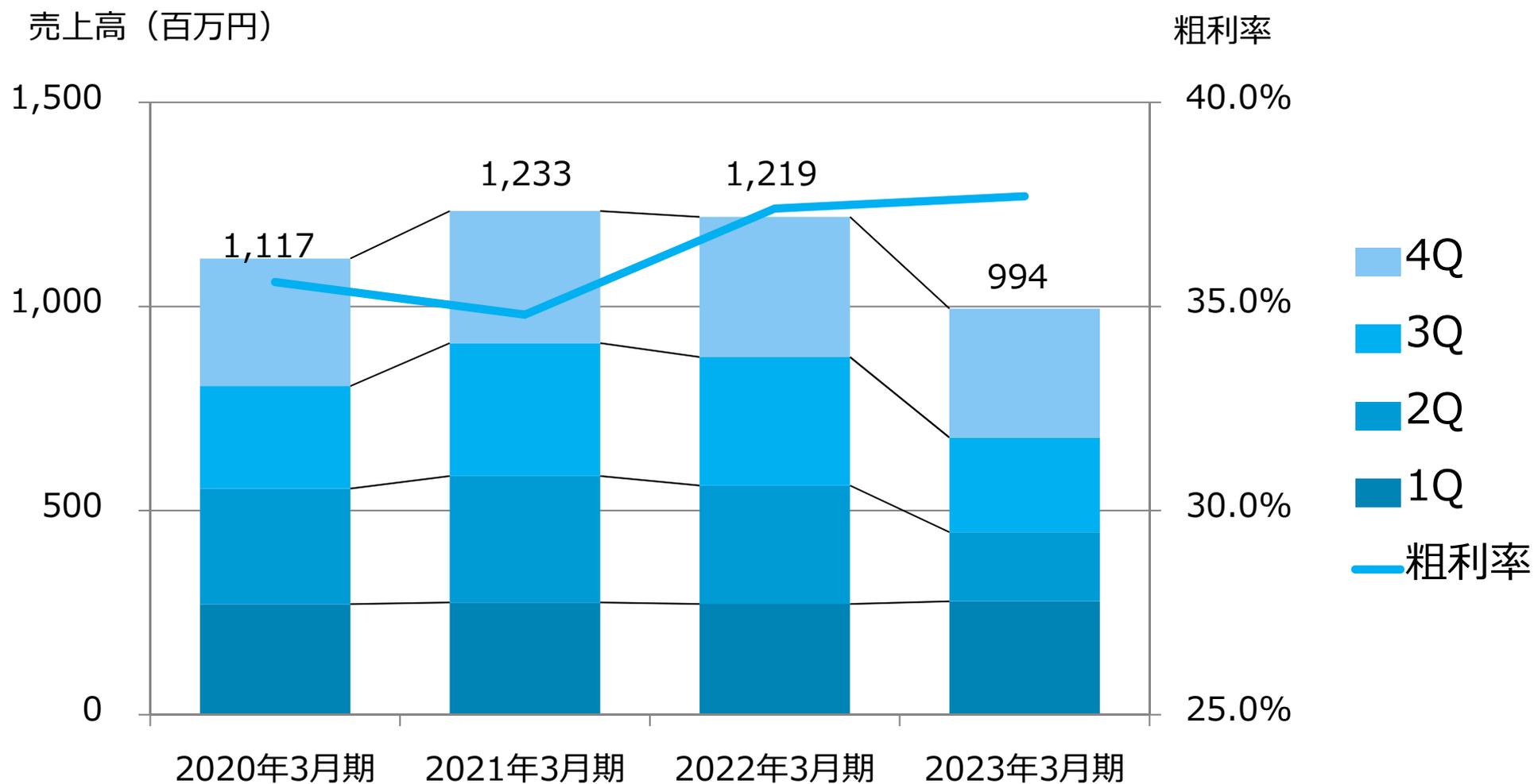


自社IoT事業を核にパートナー各社とのアライアンスでIoTの補完領域を拡充

Financial Results 2022

2022年度の業績

売上高の推移



品目別の状況

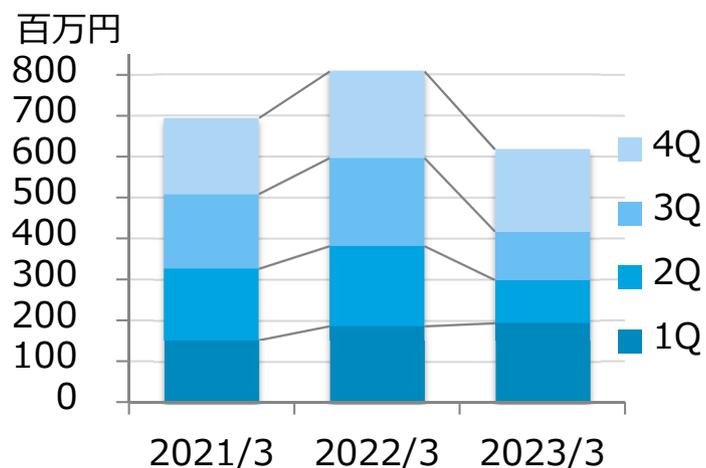
売上高	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	1,219	100.0	994	100.0	△ 224	△ 18.4
自社製品コンピューター	679	55.7	494	49.7	△ 185	△ 27.2
コンピューター関連商品	300	24.7	256	25.8	△ 44	△ 14.8
サービス・その他	238	19.6	243	24.5	4	2.1

粗利益	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比	
	金額	粗利率	金額	粗利率	増減額	増減率
粗利益	456	37.4	374	37.7	△ 81	△ 17.9
自社製品コンピューター	240	35.4	168	34.1	△ 71	△ 29.8
コンピューター関連商品	66	22.1	59	23.1	△ 7	△ 11.2
サービス・その他	149	62.6	146	60.2	△ 2	△ 1.8

(単位 百万円未満切捨、%)

IoT事業の推移

IoT事業の売上高



	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	808	617	△190	△ 23.6
マイクローバー製品	686	499	△ 186	△ 27.2
IoTサービス	63	66	2	4.6
その他サービス	58	51	△ 6	△ 11.7
売上総利益	356	280	△ 76	△ 21.5
粗利率	44.1%	45.3%	+1.2p	

(単位 百万円未満切捨、%)

顧客の需要は強いものの、半導体不足による部材供給の滞りのため、売上高が前年同期に対して大きく減少

損益計算書

	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	1,219	100.0	994	100.0	△224	△18.4
売上総利益	456	37.4	374	37.7	△81	△17.9
販管費	513	42.1	473	47.6	△40	△7.8
営業利益	△56	△4.6	△98	△9.9	△41	—
経常利益	△57	△4.7	△95	△9.6	△38	—
当期純利益	△33	△2.8	△103	△10.4	△70	—

IoT事業と一般商材のどちらも、製品供給難の影響を受け、売上高は大きく減少

人件費をはじめ大幅な節減を行い減少

(単位 百万円未満切捨、%)

貸借対照表

	2022年3月		2023年3月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	309	41.0	225	31.5	△ 84	△ 27.3
売掛金及び 契約資産	155	20.6	168	23.6	13	8.5
棚卸資産	199	26.4	247	34.7	48	24.2
その他	41	5.4	23	3.3	△ 17	△ 43.1
流動資産	705	93.4	664	93.1	△ 41	△ 5.8
固定資産	49	6.6	49	6.9	△ 0	△ 0.9
資産合計	755	100.0	713	100.0	△ 41	△ 5.5
流動負債	246	32.7	213	29.9	△ 33	△ 13.5
固定負債	40	5.4	36	5.1	△ 4	△ 10.5
負債合計	287	38.1	250	35.0	△ 37	△ 13.1
純資産合計	467	61.9	463	65.0	△ 3	△ 0.8
負債純資産合計	755	100.0	713	100.0	△ 41	△ 5.5

主な内訳
 ■商品・製品 20百万円
 ■原材料 227百万円

買掛金の減少18百万円

(単位 百万円未満切捨、%)

世界的な半導体不足の当社への影響

第2四半期に発生した半導体部品の供給不足が2023年3月期中継続した結果、当期の製品生産と利益に大きく影響した。

現状： 当事業年度に生産困難の原因となっていた部材については、2023年5月現在で在庫が進んでおり、回復基調となっている。

半導体部品は全体として未だ従前のような安定供給状態までには回復していないものの、2024年3月期半ば以降は、当社製品出荷は安定状態となる見込み。

売上高については、2023年3月期第2四半期を底として回復を予想している。

半導体不足および市場変化への対応

• 2023年3月期中の対策

<製品面での対応>

- 第二世代製品群への移行を実行した（約1年前倒し）
- 高付加価値製品の優先取組みを実施した（アプライアンス製品）
- 製品用部品の調達の強化を実行した（調達方法の多様化を含む）

<本質的な対応>

- ソフトウェア・サービス型事業会社へと転換を実行する
 - (1) アプライアンス製品の強化を継続
 - (2) IoTソフトウェア（Framework）による強みの拡大
 - (3) ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入

第二世代製品の投入

コネクテッドな時代の顧客のユースケースに柔軟に対応可能な、
マイクロサーバ/IoT第二世代製品群の投入を前倒し実行

IoTゲートウェイ **OpenBlocks IoT FX1**



ノーコードでIoTデバイスや主要クラウドと接続する
FW5を搭載
データ利活用のさらなる促進と、IoT技術のより容易
な導入をサポート

マイクロサーバ **OpenBlocks A16**



充実のインターフェイスで、アプリケーションのベース
ハードウェアはもちろん、DHCPサーバー、監視サー
バー、M2Mゲートウェイなど、幅広い用途に対応

第二世代製品による用途例（2023.01.31発表）

NTTアグリテック社*と高知県スマート農業実証

- 高知県IoPクラウドの更なる普及促進に向けて、920MHz帯を利用する新通信規格IEEE802.11ah**を活用したプライベートネットワークの整備によりIoPプロジェクトの普及促進を図るモデル化実証を実施

高知県では、作物の栽培環境データや農産物の出荷データなどをクラウドに集約・確認できる仕組みを構築し、**データに基づく栽培の実現**をめざすIoPプロジェクトを推進



*高知県 農業振興部、株式会社高知電子計算センター、株式会社高知システムズ、株式会社NTTアグリテクノロジー、ぷらっとホーム株式会社の4社によるモデル実証
**920MHz帯を利用するIEEE標準規格で「従来のWi-Fiに比べ伝送距離が拡大」「数Mbpsのスループットの可能性を有する」等の特徴を持つWi-Fi規格

株式と資本金に関するトピックス

1. 第三者割当による新株式の発行

(1) 決議日	2023年1月30日
(2) 募集株式の種類及び数	普通株式 171,100株
(3) 払込金額	1株につき 584円 ^(*)
(*) 決議日の直前営業日までの1か月の市場株式終値の単純平均値 (四捨五入)	
(4) 払込金額の総額	99,922,400円
(5) 増加する資本金の額	49,961,200円
(6) 増加する資本準備金の額	49,961,200円
(7) 割当方法	第三者割当による
(8) 割当先	個人投資家3名
(9) 払込期日	2023年2月14日
(10) 資金の用途	運転資金

株式と資本金に関するトピックス

2. 資本金及び資本準備金の額の減少

(1) 目的

第三者割当増資により増加した資本金及び資本準備金について、当社の現状の業容及び事業規模を踏まえ、税負担の軽減を図り財務内容の健全性を維持するとともに、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として実行

(2) 資本金及び資本準備金の額の減少の内容

増資後の資本金の額149,961,200円のうち49,961,200円を減少して1億円とするとともに、増資後の資本準備金の額 49,961,200円を全額減少し、減少した額の全額をその他資本剰余金に振り替え

(3) 日程

取締役会決議日	2023年2月15日
債権者異議申述最終期日	2023年3月24日
臨時株主総会決議日	2023年3月30日
効力発生日	2023年3月30日

(4) その他

資本金及び資本準備金の額の減少は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、当社の純資産額に変動はございません。また、発行済株式総数の変更は行いませんので、株主の皆様のご所有株式数や1株当たり純資産額に影響を与えるものではございません。

Plat'Home × IoT

事業戦略

中期事業戦略 コネクテッドワールドの成長機会は無限

新しいテクノロジーの出現

社会の大きな変化

IoT/分散型台帳技術/AIにより、サイバーワールド（電子空間）とフィジカルワールド（物理社会）の連携がさらに強化される

コロナウイルスによる
社会変化の加速

2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 . . . 2030

プロダクト投入

- ・ IoTゲートウェイプロダクト：OpenBlocks IoT シリーズ
- ・ IoTゲートウェイソフトウェア：FW5
- ・ マネジメントプロダクト：AirManage 2

サービス型事業モデルへの転換

- ・ サブスクリプションの導入
- ・ スtock型ビジネスへの開発投資

パートナーアライアンスの拡充

- ・ IoTデバイス・ソリューション パートナー

社会変化によるIoTの必然化

- ・ エネルギーや効率化へのニーズ
- ・ 持続的な社会への要求

IoT市場へのさらなる浸透

- ・ 市場ニーズに的確に対応した製品供給
- ・ 都市IoTなど主要用途の開拓・浸透
- ・ サービス提供による継続的価値実現
- ・ ソフト分野フォーカスによる新たな成長
- ・ パートナー協業による顧客課題の解決

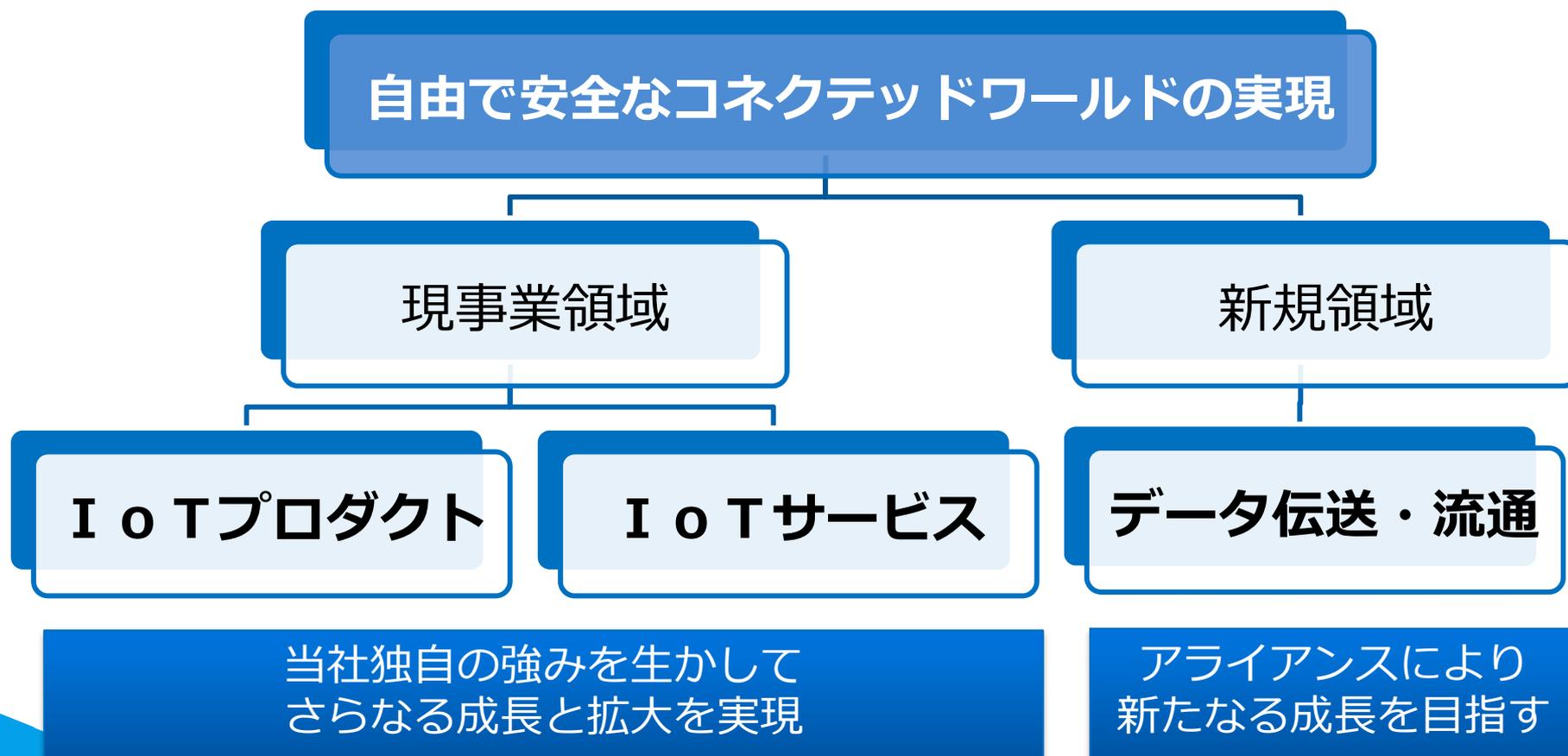
重要ニーズへの対応

- ・ IoTデータ流通への対応
- ・ 分散型台帳技術のIoT利用
- ・ IoT製品に付帯したセンサー等の周辺商品の販売強化

自由で安全なコネクテッドワールドの実現

事業展開 独自成長とアライアンス両面での成長

当社は3つの事業を通じて
「自由で安全なコネクテッドワールド」
の実現を目指します。



主要事業 I o T 事業

普及期に入った製品需要に対応した顧客接点の充実

1 ユーザーへの適切なサポート

- 顧客との対話の深化・拡大
- 適切なパートナーを通じたサポートの強化
- 顧客をサポートするパートナー企業への技術・販売支援の充実

2 パートナープログラムの拡充

- 適合するセンサー・デバイスの拡充
- パートナーとの販売面での協業

3 パッケージ製品によるソリューションの提供

- センサー・デバイスと組み合わせたソリューションパッケージの投入
- アプリケーションを搭載したアプライアンス製品の投入

パートナーシップ

IoTデバイス・ソリューションパートナープログラム

各メーカーの連携により、接続性の高いシステム構築と、ワンストップによるわかりやすい情報提供、IoT市場の認知・拡大を目指した協業プログラム



IoT Device Solution
Partner Program

IoTセンサー・デバイスパートナー

- ・エイブリック株式会社
- ・アルプスアルパイン株式会社
- ・英和株式会社
- ・エレックス工業株式会社
- ・EnOcean GmbH
- ・株式会社フォーカスシステムズ
- ・富士通株式会社
- ・富士通コンポーネント株式会社
- ・I-PEX株式会社
- ・因幡電機産業株式会社
- ・株式会社インタープロ
- ・アイテック株式会社
- ・丸紅情報システムズ株式会社
- ・ナカヨ株式会社
- ・日本セラミック株式会社
- ・オカバマーケティングシステム株式会社
- ・沖電気株式会社
- ・オムロン株式会社
- ・オプテックス株式会社
- ・パトライト株式会社
- ・ラトックシステム株式会社
- ・株式会社リコー
- ・セイコーインスツル株式会社
- ・ソナス株式会社
- ・トッパン・フォームズ株式会社
- ・東洋エレクトロニクス株式会社
- ・ユニ電子株式会社
- ・ワッティー株式会社

IoTソリューションパートナー

- ・株式会社ファンブライト
- ・株式会社マクニカ

パッケージパートナー

自社のIoTデバイスと当社のIoTゲートウェイなどを組み合わせ、機器の接続などの設定がなされた状態で販売されるIoTのパッケージ製品を取り扱うパートナー

- ・オプテックス株式会社

プログラム加入企業 2023年4月現在（敬称略）

新規領域

ソフトウェア・サービス型の事業会社へと転換を実行

1 IoTをコア技術としたWeb3領域への参入

- ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入
- データ流通サービスの実証開発
- 本番運用を想定したより本格的な実証検証の実施
- アライアンスの推進

2 ソフトウェアを源泉とした収益化

- アプライアンス製品の強化を継続
- IoTソフトウェア（Framework）による強みの拡大

当社事業による社会貢献



環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- SDGsによって目標、ターゲットが具体的に明示されたことを機に、改めて当社事業が社会課題の解決に役立つかを整理した。当社の事業は多くの社会課題と関係し、またその解決の一助となっていることを再認識し、当社事業の進展により社会課題の解決につながることから、全社一丸で取り組む。

今後の取り組み

- 当社事業によりフィジカルワールドとサイバーワールドを結び付け、①より利便性の高い社会を実現すること（地方公共団体・電力会社・交通・物流・公共施設へのサービス提供）、②より安全な社会を実現すること（地方公共団体・教育機関・医療機関・警備・保険・セキュリティ会社へのサービス提供）、③より豊かなくらしづくりを実現すること（ビルマネジメント・ビル設備・照明システム、自動車・エネルギー・各種製造業・建設業へのサービス提供）を目標に取り組む。

業績予想

	2023年3月期	2024年3月期		前年同期比	
	通期実績	上期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	994	572	1,278	283	28.5
経常利益	△95	△32	11	106	—
当期純利益	△103	△35	8	111	—

(単位 百万円未満切捨、%)

国際情勢などに起因する原材料価格の高騰、円安、全般的な半導体不足の影響は当面は続くものと予想

- I o T事業の売上高は870百万円（前年同期比 40.8%増加）の見込み
すでに普及化が進んでいる都市、産業、農業分野でのI o T需要は、半導体不足前の着実な成長軌道に戻ると予想
- 一般商材などのI o T事業以外の売上高は408百万円（前年同期比 8.2%増加）の見込み
- 販売費及び一般管理費については、研究開発費や広告販促費などへの積極的な投資は継続するものの、全般的な節減に努め、前年度に対して微増

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

(注) スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。